

特集 携帯電話や顔認識LSIなどの設計事例が続々

Cベース設計の時代が やってきた!



LSI/FPGA開発において、VHDLやVerilog HDLなどのHDL (Hardware Description Language) を使ったRTL (Register Transfer Level) 設計は、もはや当たり前となりました。これからはCベース言語などを利用した動作合成の時代です。すでに数多くのアプリケーション事例が発表されています。本特集では、Cベース言語を使った動作合成の現状や開発事例を紹介します。

第1章 動作合成とRTL設計の本質的な違い

C言語によるハードウェア設計を理解する

若林一敏

第2章 CyberWorkBenchの活用事例

民生機器向けSOC開発と先端的セキュリティ処理のIPコア化

森岡澄夫

第3章 Cynthesizerの活用事例

動作合成とC/C++/SystemC/SystemVerilogの協調検証

渋谷貴利, 内海功朗, 森 義一

第4章 eXciteの活用事例

まばたき検知機能と顔検出機能の設計

白石忠明

第5章 ImpulseC/Developerの活用事例

Cベース設計を体験する

仲野 巧

